

教専新聞

「いのち」
令和四年四月号

No.245



教専寺ホームページ

春彼岸法座つとまる



三月二十日、お彼岸のお中日に「春彼岸法座」をおつとめいたしました。県北では積雪のニュースも伝えられ、「春の風」の冷たい雨や強い風にもかかわらず、多くの方々がお参りくださいました。

「広島と西国街道」をテーマにした特別講演では、広島城学芸員の本田美和子先生に、広島そして草津の歴史について詳しい史料にエッセイをまじえて、たつぷり一時間半の興味深いお話をいただきました。

また、さちやかな応援ですが、能登のお菓子をとり寄せて参拝の皆さまとともに頂戴いたしました。

そっだ！ お寺に参ってみよう

「法座」って何？ 「お聴聞」って何？

ほうざ【法座】

説法する者の坐る座。転じて仏法が説かれる場所。また、その集まり。法席。

ちようもん【聴聞】

ききとること。説経。演説。懺悔などを聴くこと。

『広辞苑第七版』

「法座」はもともと、仏、菩薩などが座る場所であつたといわれます。また仏法を聞くことを「聴聞」ということから、「法座」のことを「お聴聞」ともいいます。

「法座」とは、仏教を単なる知識や教養として聞く場ではなく、阿弥陀仏が私と一緒にくださっていることを、お聞かせいただく「法縁」です。

様々な縁を通して、阿弥陀仏の願いがはたらきとなって、私を見て導き続けてくださっていることを、一緒に感謝していきましょう。

お寺の法座には、教専寺の門信徒でなくても参拝できます。事前のお申し込みは必要ありません。

【服装】 普段着でかまいません。お持ちの方は、門徒式章(首にかける門信徒用の袈裟)

【持ち物】 お経本(お寺にも)用意しています。念珠、法札(総代さんが帳場におられます。法座などの運営費にあてられます。)

【次第】 お勤め「正信念仏偈」赤いお経本の4ページ
法話 前半
中休み(お茶を頂き、お賽銭を集めます)
法話 後半

西福寺(八本松)寺報「道」より



4月の予定

【永代経法座】

4月24日(水)

朝席 午前10時より

昼席 午後1時30分より

講師 海谷真之師(江田島・光源寺)

【仏婦例会】

4月19日(金)午後1時30分より

【清掃奉仕】

毎週金曜日午後2時より

【教安寺】 永代経法座

4月20日(土)・21日(日)両日とも午後1時30分より

桜の開花が発表されました。あたたかな春がやってきました。4月8日はお釈迦様の誕生日「はなまつり」です。教専寺では、6日～8日まで本堂の前に花御堂(はなみどう)を飾ります。どうぞ、お釈迦様に甘茶をかけ、お参りください。また、5月19日(日)は3歳児のお参り「初参式」です。コロナで中止の期間もありましたので、3歳を過ぎたお子さんもお大丈夫です。お孫さん、近所のお子さんにお声がけください。申込書は来月お配りします。